

2014 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	管理栄養士専攻	科 目
-----------	---------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

1. アンケート結果について

結果の数値を一覧表にした。一応の目安として年度ごとに全学の結果に比し評点平均が 0.25 点（5 点満点の 5%）以上、DWCLA10 選択率で 5%以上の差がみられた項目に網がけをした。評点平均値においては、昨年と傾向が類似しており、変化はみられなかった。DWCLA10 選択率では、項目ごとの傾向は類似していたが、昨年より低下した項目もみられ、改善の必要があると思われた。

2013年度	評点平均値								
質問項目	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9
	理解	意欲	好奇心	学習時間	聞きやすさ	工夫	シラバス	配慮	レベル
全学	4.11	4.09	4.02	0.61	4.11	4.03	4.19	4.08	3.55
管理栄養士	4.06	4.17	4.02	1.41	4.12	3.96	4.29	4.10	3.66

2014年度	評点平均値								
質問項目	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9
	理解	意欲	好奇心	学習時間	聞きやすさ	工夫	シラバス	配慮	レベル
全学	4.10	4.10	4.02	0.65	4.08	4.02	4.21	4.08	3.56
管理栄養士	4.00	4.10	3.94	1.40	3.95	3.79	4.23	3.98	3.74

2013年度	DWCLA10選択率(%)									
質問項目	分析力	思考力	創造力	プレゼンテーション	コミュニケーション	リーダーシップ	思いやる力	変化対応	自己管理	自己実現
全学	29.8	54.5	19.1	13.1	20.3	2.8	8.3	7.9	8.9	9.9
管理栄養士	38.4	59.8	14.0	11.6	21.0	4.0	9.7	10.4	14.7	7.2

2014年度	DWCLA10選択率(%)									
質問項目	分析力	思考力	創造力	プレゼンテーション	コミュニケーション	リーダーシップ	思いやる力	変化対応	自己管理	自己実現
全学	30.7	54.6	18.0	13.8	19.8	2.7	7.7	7.5	9.5	9.4
管理栄養士	34.9	49.8	9.2	9.4	18.0	4.9	7.0	8.3	14.0	6.1

2. 今後の改善点、その他

学習時間は昨年同様に全学より高い値であった。各科目をみると昨年同様に、事前予習やレポート課題が課せられる実験・実習科目の時間数が多かったが（2 時間以上が多数）、講義科目でも 2 時間を超えるものもあったことから、今後も維持向上するよう教員の努力が必要と考えられた。

DWCLA10 選択率では、「分析力」「思考力」「創造力」の低下がみられた。特に「創造力」は全学に比べ著しく低いことがわかる。また、実験・実習科目では「分析力」「思考力」が高い傾向にあるが、それでも科目や担当教員によっては低い値もあった。講義科目では、これらが低い結果となっていた。その他の項目についても特に向上した項目は見られなかった。この傾向は本専攻の授業が、国家試験ガイドラインに沿った内容となっており、各科目で習得すべき知識量が多いため、授業時間に余裕がないという現状がある。ただ、各教科に DWCLA10 の要素は多少なりとも含まれていると推測されるため、教員が学生にそれらを意識させる工夫をすることで改善するように思われる。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター